

# 青野池

(あおのいけ)



全景



全景

## ため池の概要

### ため池の所在地

新潟県上越市

### ため池の特徴

青野池は、400年以上前の遙か古より農業用水として利用されているため池で、現在も水田120haを潤しています。

隣接する水田から出土した遺跡を調査した結果、池周辺がこの地域における米作発祥の地であることも判明しています。

青野池には祠のある弁天島があり、島に通じる堤防には榛の木が植生し、神秘的な景観を呈しています。祠では、毎年地域の人々による祭りが行われています。

カモ、白鷺などの鳥類や、ヌマエビ、ホタル、サワガニなどの水生生物、植物としてはハンゲショウ、トコワラビ、カキツバタ、カタクリの生息が確認されている自然豊かなため池です。

地域の子どもたちの遊泳場所としても親しまれ、秋の池払い時には鯉のつかみ取りが行われています。

## 関連情報

# 坊ヶ池

(ぼうがいけ)



全景



坊ヶ池と残雪の妙高山



## ため池の概要

### ため池の所在地

新潟県上越市

### ため池の特徴

坊ヶ池は、江戸期にかんがい用ため池として築堤され、関田山系からの清らかな水で上越産コシヒカリの礎を築き、現在も約260haの水田に水を供給しています。

「竜神伝説の池」として有名で、坊ヶ池の名は、伝説に登場する竜神の子ども「坊太郎」からきています。また、毎年5月8日は、「坊ヶ池のまつり」として湖畔の弁財天(水の神)を祀る神事が昔から盛大に行われています。

池は小高い山の頂上にあり、上越市街の夜景や夜空に輝く無数の星の眺めがとともよく、湖畔には天文台「星のふるさと館」、宿泊施設「山荘京ヶ岳」があります。

また、池の周りの森林は県の森林浴百選に選定されており、湖畔のキャンプ場には、毎年夏になると多くの利用者が訪れ、憩いの場となっています。

## 関連情報

清里商工会ホームページ「竜神伝説(坊太郎伝説)」

<http://www.shinsyoren.or.jp/kiyosho/bortaro.html>

# 朝日池

(あさひいけ)



全景



大地引網漁

## ため池の概要

### ため池の所在地

新潟県上越市

### ため池の特徴

朝日池は、1646年、高田藩の中谷内新田開発に伴い造成された農業用ため池で、現在も水田276haを潤しています。

湖面の蓮の花は美しく、また早朝湖面に映る「逆さ米山」は一幅の水墨画のようです。

外来魚駆除と地域コミュニティ活動を目的に、平成18年、50年ぶりに復活させた「大地引網漁」は大勢が参加する交流の場となり、年々リピーターも増えています。

また、この地域では、五穀豊穡を祈る伝統芸能「八社五社(やしごしゃ)」「米大舟(べいだいしゅう)」も脈々と受け継がれています。

11月頃からは渡り鳥の季節となり、数千のマガモ・コガモ・ハクガン・ヒシクイ・ハクチョウ・カルガモ・オシドリなどが羽を休める姿は圧巻です。

また池には湧水があって厳冬期でも湖面は凍らず、渡り鳥の姿を間近に見ることができることから、多くのカメラマンが訪れます。

## 関連情報

# じゅんさい池（下野）

（じゅんさいいけ）



全景



じゅんさい摘み

## ため池の概要

### ため池の所在地

新潟県阿賀野市

### ため池の特徴

じゅんさい池は、明治以前に築造された農業ため池で、その名のとおり夏には水面一面にじゅんさいが繁茂します。毎年6月、丸太イカダに乗って行う「じゅんさい摘み」は集落の年中行事になっています。

池には、タヌキモ類やガガブタなどの絶滅危惧種に指定されている貴重な水中植物が生育し、サギソウやサワギキョウなども見られます。また日本で一番小さいハッチョウトンボをはじめ、様々なトンボ相も観察することができ、多様な生き物が生息する環境が維持・形成されています。

地元自治会では、周辺の草刈、ごみ拾い、遊歩道の整備を行っているほか、緑の羽根募金活動を通じて毎年植樹を行い、池の環境整備を進めています。

## 関連情報

# 赤祖父ため池

(あかそぶためいけ)



全景



女人夫による搗き固め作業



円筒分水槽

## ため池の概要

### ため池の所在地

富山県 南砺市

### ため池の特徴

赤祖父ため池は、日本の稲作文化を代表する農村風景、砺波平野の散居村の眺望と豊かな自然に囲まれた美しい景観を持つため池です。

この地域では、昭和初期まで干ばつの年には水争いが絶えなかったことから、昭和7年にため池の築造が始められました。しかし戦時の労働力不足から工事は進まず、昭和20年の完成までには13年の歳月と延べ13万5千人を要し、特に堤体の搗き固め作業には女人夫7800人が動員されました。

ため池が完成し、また全国的にも珍しい円筒分水槽によって人手によらない公平な分配が可能となったことから、長年の水争いは解消されました。その水は、現在も砺波平野の水田を潤しています。また、防火や消流雪のための生活用水や地域環境保全用水としても利用されています。

赤祖父ため池には、ヘラブナ、鯉、マブナ、ワカサギ、モロコなどが生息し、また、様々な野鳥やニホンカモシカ、うさぎ、狸などの動物、トンボ、ホタル、蛙など日本在来の生物が多数生息しています。「ふれあいヘラブナ釣り大会」や「つばきの郷赤祖父夏祭り」など様々な行事が毎年開催され、一年を通じ地域の人々に癒し・憩いの場として親しまれています。

## 関連情報

# 桜ヶ池

(さくらがいけ)



全景



春の桜ヶ池(湖面を望む)



ギフチョウの「放蝶会」

## ため池の概要

### ため池の所在地

富山県南砺市

### ため池の特徴

砺波平野を一望する台地にあり、生産性の高い優良農地530haを支えるため池です。戦後800本の桜と400株のつつじが植栽され、公募により「桜ヶ池」と名付けられた池は、桜の名所として地域の人々に親しまれています。

河川からの取水に頼り、夏には用水不足で水争いが絶えなかったこの地域の農業振興のため、豪農・井口仁志氏は、昭和10年頃から関係村々の村長らと共に、地元農家の啓発に努め、貯水池の築造運動を展開しました。

池の適地は陸軍演習場内にあり、困難な交渉の末、昭和16年に開削を始めましたが、戦時中で、資材や労力が不足し工事は遅々として進まず、戦後昭和28年になってようやく完成しました。

周辺には里山特有の生物が数多く生息しており、地元の小学校では、体験学習で絶滅危惧種のギフチョウの育成と桜ヶ池周辺での放蝶を行っています。社会学習では、ため池ができる前の農家の苦労、先人の熱意と努力、ため池の水が田んぼに至るまでを、土地改良区の方が伝えています。

また、池に隣接するハイウェイ・オアシスは東海北陸道全線開通を契機に来訪者が増加し、桜ヶ池は都市農村交流の場として、地域活性化に重要な役割を果たしています。

## 関連情報

# 漆沢の池

(うるしざわのいけ)



ため池全景



ため池近景

## ため池の概要

### ため池の所在地

石川県七尾市

### ため池の特徴

漆沢の池は、享保十年(1725)に築かれた周囲2kmの能登最大級のため池で、築造から350年以上を経た今日も50haの水田を潤しています。

深刻な水不足に直面していた十村役(とむらやく)の北村源右衛門平内が、漆沢の谷間に堤を築くことを決断しました。高度な技術を要する大工事で、平内氏の並々ならぬ努力と地元農民の3年9カ月に及ぶ苦勞の末に完成しました。

当時の様子は、かつおきんや氏の著書「能登のお池づくり」として1冊の書籍にもなっています。

完成後は新田開発が進み、米の収穫が格段に増えました。当時「三階や極楽、般若野地獄、並ぶ池崎鬼が住む」(三階は地元の村名、般若野と池崎は近隣の村名)と唄われた程で、平内氏の功績を称え「治水功績碑」が建立されました。

今も地元では「お池」と呼ばれて親しまれ、毎年秋祭りには豊作を感謝して獅子舞が奉納されます。

自然環境も豊かで、池にはコイ、フナ、ナマズ、タナゴ、シジミなどの多様な魚類が生息し、冬になるとカモなどの渡り鳥も飛来します。

またサワギキョウ、ハス、ヒシが生育し、食虫植物のモウセンゴケ、タヌキモも見られます。

## 関連情報

石川県土地改良事業団体連合会ホームページ

<http://midori-net.jp/mame/yousui13.html>

# 鴨池

(かもいけ)



ため池全景



鴨池観察館

## ため池の概要

### ため池の所在地

石川県加賀市

### ため池の特徴

鴨池は、国指定天然記念物「マガン」「ヒシクイ」「オジロワシ」が飛来する、県内有数の野鳥越冬地として有名で、平成5年にはラムサール条約湿地として登録されています。

野鳥の餌場は、田んぼの乾田化により年々減少していますが、この地域では、19年度に発足した鴨池周辺地域資源保全会が、地元農家の協力のもとで、冬場も田んぼに水を張って餌場として提供する活動を行っています。

また鴨池観察館では生態系や自然との共存に関する勉強会などが開催されています。

鴨池が潤している6haの農地では、餌場を訪れた鴨のフンを肥料にした「ともえ米」が栽培されています。減農薬米として鴨池観察館やインターネットでも販売されており、鴨池は高付加価値型農業の礎ともなっています。

## 関連情報

加賀市鴨池観察館ホームページ  
<http://park15.wakwak.com/~kamoike/>



# 赤尾大堤

(あかおおおつつみ)



全景



全景

## ため池の概要

### ため池の所在地

福井県勝山市

### ため池の特徴

旧平泉寺村の中南部に位置する赤尾大堤は、貯水量2.8万 $m^3$ のため池で、区誌には江戸時代の1800年頃に、藩から諸大名に協力を求めて築造を行ったと記されています。

現在でも水源に乏しいこの地域の貴重なみずがめとして水田を潤しています。

大堤は、里山に囲まれた水田とともに生物にとって良好な水辺環境を形成しており、水生昆虫が多く生息しています。

この地域一帯のため池群は、貴重種も数多く確認されており、福井県が出版する「守り伝えたい福井の里地里山」の中でも、保全すべき地域の一つに位置づけられています。

## 関連情報